

フロが教えるイワナ釣り

第2回朝日自然塾(※)が7月6日(土)に、鶴岡市大鳥の東大鳥川とタキタロウ館で、朝日自然塾連絡協議会の山形県溪流釣り協議会・鶴岡市朝日庁舎、庄内森林管理署等の協力を得て、天候にも恵まれ、朝早くの集合時間にも関わらず、河北町や酒田市からの参加も含め、募集人員より若干少ない10組20名の参加をしていただき無事実施しました。

タキタロウ館前での開会式後、参加者が3班に分かれ講師・スタッフの指導のもと、エサの付け方・竿の振り出し方・仕掛けの流し方等を教えられ、早々に東大鳥川での溪流釣りに2時間ほどチャレンジしました。



エサの付け方は？

場所をタキタロウ館前の釣り堀に移し、今度はイワナ・ニジマス釣りに挑戦、釣り上げた魚のさばき方にカッターナイフやハサミで挑戦し、午前の部を終了しました。

お昼には、スタッフが汗だくになりながら炭火で焼いたイワナを、骨まで食べられるとはしゃぎながらほおぼっていました。

昼食後は、毛針作りと、フライフィッシングの竿さばきをそれぞれ交互に体験し、その後、イワナや魚との森林の深い関係性などを教わり、イベントを終了しました。

なお当日は、鶴岡市ケーブルテレビジョンの取材カメラも同行されていました。



ハサミも使った見事なさばき方



どんな毛針が出来上がるの

※朝日自然塾：東北森林管理局と朝日山地森林生態系保護地域の利用と保護管理に深く関わりをもつ各団体が協力し、朝日山地及び周辺地域において体験活動型森林環境教育を推進するため企画実践しています。



みんなそろってはいポーズ

東北森林管理局
朝日庄内森林生態系保全センター